

会 議 録

◇詳細—企画調整グループ 電話03-4566-2511

附属機関又は 会議体の名称		令和元年度 未来戦略創出会議(第 13 回)
事務局(担当課)		政策経営部企画課
開催日時		令和 2 年 1 月 8 日(水) 15 時 00 分～16 時 00 分
開催場所		庁議室(本庁舎5階)
議題		(1)令和 2 年度当初予算案について (2)令和 2 年度の新規採用職員について (3)平成 30 年度(令和元年度実施)施策評価の実施結果 (4)楽器寄付ふるさと納税の実施について (5)令和 2 年 1 月～3 月分イベント・事業等開催予定一覧 (6)令和元年度第8回政策経営会議結果報告
公開の 可否	会議	<input type="checkbox"/> 公開 <input checked="" type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開
		非公開・一部非公開の場合は、その理由 豊島区行政情報公開条例第7条第1項第5号による
	会議録	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開
		非公開・一部非公開の場合は、その理由
出席者	委員	区長・副区長(2)・教育長・政策経営部長・総務部長・危機管理監・施設整備担当部長・区民部長(欠席)・文化商工部長・国際文化プロジェクト担当部長・環境清掃部長・保健福祉部長・健康担当部長・池袋保健所長・子ども家庭部長・都市整備部長・地域まちづくり担当部長・建築担当部長・土木担当部長・会計管理室長・教育部長・選挙管理委員会事務局長・監査委員事務局長・区議会事務局長
	幹事	企画課長・財政課長・行政経営課長・区長室長・広報課長・「わたしらしく、暮らせるまち。」推進室長・国際アート・カルチャー都市推進室長・総務課長・人事課長
	説明者	財政課長、人事課長、行政経営課長、学務課長、企画課長
	事務局	企画課企画調整グループ係長

審議経過

(1) 令和 2 年度当初予算案について

各委員 資料に基づき、令和 2 年度当初予算案について、概要を説明。

令和 2 年度当初予算案は、事業規模としては 1,283 億円となっている。予算規模は令和元年度と比較し 14.4%減、額としては 215 億円の減となっている。大きく絞った予算となっているが、過去 2 番目の規模の予算である。最大は今年度の 1,498 億円である。

内容について、歳出は対前年度と比較すると、「投資的経費」において 235 億円 (59.3%) の減となり令和 2 年度は 161 億円で、これが最も絞った内容である。各種扶助費や教育・福祉・防災などの様々な経費を計上している「事業費」においては、若干の減少で 4 億円の減少となり 867 億円を計上している。扶助費をはじめとした区民サービス費を決して絞ったわけではないが、4 億円の減となった大きな要因は会計年度任用職員制度の導入にあると考えられる。今まで「事業費」に計上していた臨時職員の賃金について、制度開始により「人件費」に移ることとなる。「人件費」においては、24 億の増となり 255 億円を計上している。大きな要因は会計年度任用職員制度の導入により、臨時職員の賃金が人件費に移ること、加えて期末手当の支給が始まることや職員給与の引き上げが、要因として挙げられる。

歳入については、一般財源歳入において 3 億円微減の 757 億円となっている。内訳としては、区民税でふるさと納税の影響を考慮したうえで 9 億円の増を見込んでいる。消費税交付金は 18 億円増等となっている。

このように大きく投資を抑え、必要な区民サービスを維持したうえで編成されたものが令和 2 年度予算であると考えている。

続いて、令和 2 年度新規・拡充事業について、概要を説明。

まだ調整中の事業もあるが、ほぼ現状で決定している状況である。各部局から上がった要望額が 294 事業で約 51 億 2400 万円であったが、採択額は 225 事業で約 33 億 9800 万円となっている。概ね 4 件の要望につき 1 件が不採択という形で、額としては約 17 億 2500 万円減となり約 3 分の 1 減となっている。

今後の日程について、本会議にて決定の後、21 日(火)より正副議長への予算説明に入る。その翌日以降は、各会派に令和 2 年度予算の全体像等について説明を行う。2 月に入り、第 1 回定例会に向けて予算プレス発表等を経て本会議初日を迎える、というスケジュールで当初予算編成を進めていく。

副区長 2 月 4 日の予算プレス発表について、広報課が中心となってこれから編集していくが、各部局においてアピールしたい事業については、広報課にしっかり届くように徹底してほしい。

⇒提案のとおり決定する。

(2) 令和 2 年度の新規採用職員について

説明者 資料に基づき、令和 2 年度の新規採用職員について説明。

⇒提案のとおり決定する。

(3) 平成 30 年度(令和元年度実施)施策評価の実施結果

説明者 資料に基づき、平成 30 年度(令和元年度実施)施策評価の実施結果について説明。

本区の行政評価は、「豊島区基本計画 2016－2025」に掲げる各施策の目標と取組みについて、その進捗状況を管理するため、施策ごとに設定した指標により、その実効性を図ろうとするものである。平成 29 年度から、基本計画の進捗管理等を目的とした行政評価(以下、「施策評価」と従来からの「事務事業評価」を組み合わせた二階層による評価を実施し、本年度は施策評価実施の 3 年目となる。

施策評価は、基本計画の進捗管理、事務事業の相対評価、行政資源の再配分を目的として実施し、全 72 施策について設定した指標に基づき施策の進捗状況を測定した。評価結果であるが、目標を大きく超えて達成しているものが 10 施策、目標通り達成しているものが 30 施策、相当程度 26 施策、未達成のものが 6 施策となっている。

次に外部評価の実施について報告する。所管部局で実施した 72 施策の施策評価のうち 2 施策について、政策評価委員会による外部評価を実施した。1 点目が「外国人住民とのコミュニティの形成・促進」について、2 点目が「道路・橋梁の整備と維持保全」である。

主な指摘事項としては、指標の設定等について後期基本計画では指標の精査を行うべきである等が指摘されている。「外国人住民とのコミュニティの形成・促進」については、現基本計画は「多文化共生推進基本方針」が反映されていないので、次期策定時にその取り組み内容や指標の設定を検討されたい等の指摘があった。「道路・橋梁の整備と維持保全」については、2つの指標の重要度割合が 50:50 になっているが重要度の割合を再検討したほうがいいのかという指摘や、施策や事務事業をカバーできる指標の設定を検討されたい等の指摘があった。

「2 施策に共通する指摘事項」について、指標が施策の達成度を測る指標になっているかなど指標の見直し精査をされたいという指摘があった。行政評価(施策評価)については、自治体の施策はPDCAサイクルを回すことにより改善が図られていくものであり、施策の変化が見える化することも説明責任を果たすことになる。施策の変化がわかる仕組みを構築してほしいという指摘や、後期基本計画では指標設定の背景や目標値の設定根拠等を記載することも検討されたいという指摘であった。評価結果については、区が実施した評価の内容については概ね妥当であるとの意見をいただいている。

来年度の基本計画改訂に向けて、委員会にて主に 4 つの意見が出されている。1 点目が基本計画策定後に社会情勢や法改正等があったため、現状と合わない施策があり、改定に向けて施策目標の見直しを検討されたいという意見。2 点目が社会情勢の変化等も著しいため、基本計画の期間についても検討されたいという意見。3 点目が施策の指標として、事務事業レベルの指標を設定しているものがあるため、見直しを検討

されたいという意見。4 点目が施策の達成度を測る指標や補助指標は、施策目標に対する達成度を測れるように見直し、再設定等を検討されたいという意見である。

なお、こちらの結果については先月の行財政委員会にて報告したところである。

平成 28 年度から令和元年度における「外部評価」の実施資料について提示。明日の行財政委員会にて机上配布する予定である。

副区長 外部評価委員の構成について確認したい。

説明者 委員長は原田委員である。それ以外に外部委員 5 名を加えた 6 名の外部委員と、政策経営部長と総務部長の計 8 名の委員にて、お願いしている。

区長 東京都の「未来の東京戦略ビジョン」において、区部中心部の主な拠点の将来像にて「国際アート・カルチャー都市」として池袋が掲載された現状がある。こうした中で、現行の基本計画と実施している施策に、大きく乖離が出ていると感じる。この乖離を来年度の改訂において、どう方向性を定めるかが重要である。現状をよく分析した上で計画改訂に当たってほしい。

⇒報告のとおり了承する。

(4) 楽器寄付ふるさと納税の実施について

説明者 資料に基づき、楽器寄付ふるさと納税の実施について説明。

楽器寄付ふるさと納税とは、全国に眠る使われなくなった不用楽器を、学校及び音楽団体等へ自治体を通じて寄附いただき、その寄附楽器の査定価格が税金控除される「ふるさと納税制度」を活用した新しい納税スタイル。寄附いただいた楽器が、子どもたちの感謝の気持ちを創造し、笑顔あふれるまちづくりの活性化を図るものであり、「ふるさと納税制度」本来の目的も捉えた取り組みである。

概要としては、寄附者が専用WEBサイトを使い、自治体に楽器を寄附する。寄附者は楽器査定事業者による楽器の査定を受け、ワンストップ特例を利用した場合、楽器査定額から2,000円を控除した額が寄附者の住民税より控除される。なお、豊島区民も楽器寄附ふるさと納税の制度を利用し、楽器を寄附することが可能である。

豊島区の状況は、中学校吹奏楽部にある楽器数約600個のうち、6割近くが昭和時代に購入したものであるという現状であり、錆やへこみ等が見られ、老朽化が進んでいる。まずは駒込中学校から初めて、実施状況によって、他の中学校や吹奏楽が盛んな小学校にも広げていくつもりである。

スケジュールとしては、教育委員会にて説明後、行政情報公開・個人情報保護審議会を経て、校長会、予算内示会に 4 月以降、寄附募集を開始する予定である。

⇒提案のとおり決定する。

(5) 令和 2 年 1 月～3 月分イベント・事業等開催予定一覧

説明者 資料に基づき、令和 2 年 1 月～3 月分イベント・事業等開催予定一覧を説明。

⇒報告のとおり了承する。

(6) 令和元年度第8回政策経営会議結果報告

説明者 資料に基づき、第9回政策経営会議結果報告について説明。
 案件:木造密集地域における用地取得について(上池袋地区3件)
 案件:南池袋四丁目日出公園隣接地の用地取得について

⇒報告のとおり了承する。

<p>会議の結果</p>	<p>(1)令和2年度当初予算案について (2)令和2年度の新規採用職員について (3)平成30年度(令和元年度実施)施策評価の実施結果 (4)楽器寄付ふるさと納税の実施について (5)令和2年1月～3月分イベント・事業等開催予定一覧 (6)令和元年度第8回政策経営会議結果報告 →(1)、(2)、(4)について決定、(3)、(5)、(6)について了承</p>
<p>提出された資料等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度当初予算案について ・令和2年度の新規採用職員について ・平成30年度(令和元年度実施)施策評価の実施結果 ・楽器寄付ふるさと納税の実施について ・令和2年1月～3月分イベント・事業等開催予定一覧 ・令和元年度第8回政策経営会議結果報告